

様式第5

原子力・エネルギー教育支援事業交付金事業評価報告書

教高第781号

令和2年2月4日

文部科学大臣 萩生田 光一 殿

静岡県静岡市葵区追手町9番6号

静岡県知事 川勝 平太

令和元年5月21日付け31受文科開第221号をもって交付の決定の通知を受けた原子力・エネルギー教育支援事業交付金に係る交付金事業の成果の評価について原子力・エネルギー教育支援事業交付金交付規則第10条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

1. 交付金事業の名称 エネルギー関連教育事業
2. 交付金事業の事業主体 静岡県
3. 交付金事業の実施場所 静岡県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・原子力・放射線の学習に関する教材の整備（沼津東高校）
クルックス管、直流安定化電源装置（高電圧型）を整備し、放射線の安全性と利用についての学習に活用する。
- ・発電・エネルギーの学習に関する教材の整備（韮山高校、沼津東高校）
電気分解用定電流電源、PAMクロロフィル蛍光測定器等を整備し、発電・エネルギーの学習に活用する。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 8,868,320 円

交付金充当額 8,868,320 円

6. 交付金事業の成果及び評価

当事業により原子力・エネルギーについて生徒等の理解が促進されたと回答した割合〔理解度〕は、目標 70%に対して実績 70%で、達成度は 100%だった。原子力・エネルギーに関する教育への環境整備として当事業が促進されたと回答した割合〔満足度〕は、目標 100%に対して実績 100%で、達成度は 100%だった。実験器具・実験材料の整備事業を実施したことにより、原子力・エネルギーに関する教育への環境が整備され、原子力・エネルギーについて生徒等の理解が促進された。

生徒は、実験器具等を活用して目で見ることのできない放射線を監察したり、太陽光や微生物などを利用した発電のしくみを観察・実験したりすることで、放射線やエネルギーについて興味・関心が高まった。